

交換留学体験記：アーカンソー大学  
人間科学部人間科学科 4年  
大城 久李亜

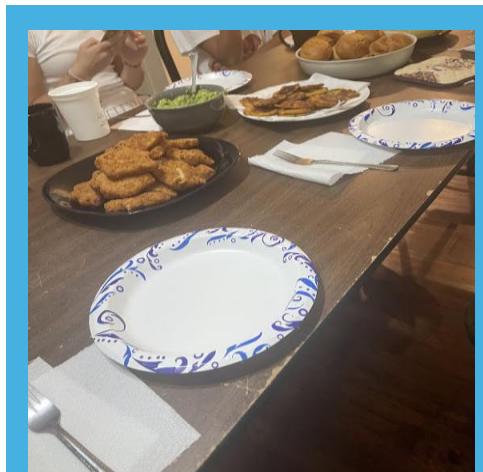
5月の中旬ごろから8月まで約3か月ほどの大きな夏休みに入り、学生もキャンパスからいなくなつたなか、私の夏休みでの思い出をここでは振り返りたいと思います。

### 1. 住むところ

夏休みは基本、寮もオフキャンパスのアパートメントも契約上、残ることができなかつたため、自分でアパートを見つける必要がありました。春学期から来て1年間の留学の予定の方は、この夏休みの住む場所の確保をどうするかが問題になってくると思ひます。私は運よく大学外のアパートメントでルームメートを探している友人がいたのでそこに春学期後は住むことになりました。聞いた話によると、自分で知人を頼ってホームステイをする方もいたそうです。私も、2週間ほど現地で仲良くさせてもらつてているfamilyのお家で一緒に過ごさせてもらいました。



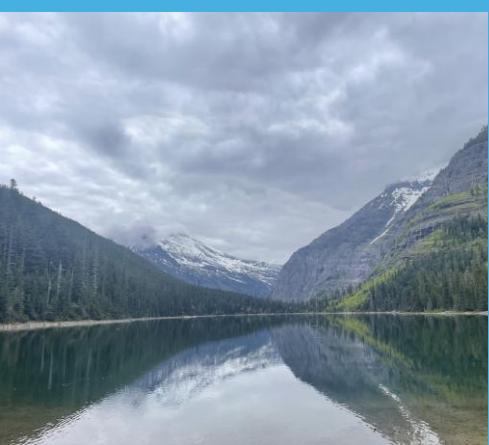
ホームステイをした時に、ガレッジセールを手伝ったときの様子



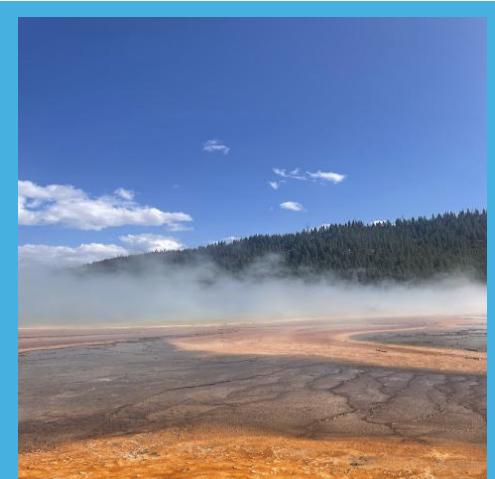
スペイン人のルームメートが作ってくれた食事

### 2. 旅行

五月の後半にyellow stoneやglacier parkに旅行に行きました。アーカンソーは半そでで過ごせるほどの温度だったのですが、上の州に行くとまだ雪も積もついて、ジャケットを着ないと耐えられないほどでした。



Glacier park (Montana 州)



Yellowstone(Idaho 州)



Eurica spring (Arkansas 州)

### 3. 無料で英語を学べる学校 (Ozark Literacy center)

夏休みの午前中は、Ozark Literacy center で英語の授業を受けていました。OLC はアメリカに住む外国人に向けて、英語の授業であったり、働くうえで必要なスキルだったりを学ぶ機会を無償で提供している場所です。大学の授業と比べて、海外の人に向けて授業をしてくれるため、話す機会も多く、英語の能力を向上させるうえでとても役に立つと思います。

キャンパスも誰もいなくて寂しい雰囲気で、この長い休みに何をしようと思っていたが、図書館も一人占めでき、学外で授業を受けたり、アメリカの祝日を祝ったりなど、なんだかんだ有意義な時間を過ごすことができました。